

平成28年度地方創生加速化交付金事業及び推進交付金事業に係る事業検証結果

■事業効果 ①非常に効果があった②相当程度効果がかった③効果があった④効果がなかった

■今後の方針 ①発展 ②改善 ③継続 ④中止 ⑤予定通り事業終了

■事業の評価 ①総合戦略のKPI達成に有効であった ②総合戦略のKPI達成に有効でなかった

地方創生加速化交付金事業

No	交付対象事業の名称	事業目的や概要	実施内容	実績額 (円)	本事業における重要業績評価指標 (KPI)			事業効果	外部有識者からの評価		内部事業評価と今後の方針	
					指標	指標値	実績値		事業の評価	有識者からの意見	今後の方針	取組評価と今後の方針
1	道の駅と限界集落をつなぐ「ガールズファーム」事業	<p>【目的】 町の基幹産業である農業に焦点をあて、人口減少の著しい山間地域の限界集落で地域資源の発掘を行い、その資源を活かした特産物等を道の駅で販売することにより、集落と道の駅をつなげ、地域再生と産業及び観光の活性化を図る。</p> <p>【概要】 若い女性の転出解消や女性目線の情報発信力を活用するため、全国から地方創生・独立就農・地域起業家等の希望のある女性5名を募集し、日本の棚田百選に選ばれている久米南町上初地区において、棚田等を活用した有機野菜・機能性野菜等の栽培・出荷を行う。また、道の駅での加工・販売等に必要ビジネススキルを3年間の就業経験によって身につけ、若い女性の就農支援農産山村地域の創生を目的とした「半農半X」をモデル化する。</p> <p>①ガールズファーム(農業女子)募集・雇用・運営、特産物の販売PR、研修会等の開催 ②限界集落に人呼び込むための空き家の改修 ③道の駅整備事業(加工品用厨房整備や本事業専用の販売棚など)</p>	<p>【実施内容】 全国から募集したガールズファーム(農業女子)には、東京や大阪などから応募があり、4人を採用。地元農家やJAなどから指導を受けながら、農業についての一連の知識や技術を身につけ、栽培から販売までを取り組んだ。また、農業以外の独立に向けてのビジネススキルや加工品の技術習得のため研修会等に参加し、地域資源を活用した仕事モデルの可能性を模索した。 このほか、活動拠点である上初地区内の空き家でイベントやカフェを実施するための施設改修を行った。</p>	36,498,056	①道の駅来場者増加 ②ガールズ農業女子の獲得	①30,000人 ②5人	①35,618人 ②4人	地方創生に相当程度効果があった	総合戦略のKPI達成に有効であった	継続	婚姻率や出生率が低い原因として若い女性の進学・就職・結婚を機に転出することが背景があると予測されることから、限界集落での新しい女性によるしごと創生モデルの確立に向けた活動を行うとともに、地域と連携した取組により地域課題の解決につながった。 改修した空き家を拠点とすることで、道の駅と動線をつくり、地域への交流人口増加やガールズファームの獲得など、KPI達成の基盤を確立できた。 今後は、今年度同様の事業を継続させるとともに、ガールズファーム(農業女子)が定員に達していないため再度募集を行い、若い女性の「半農半X」モデルを目指す。	
2	都市と地方をつなぐクリエイターラボによるしごと創生の久米南モデル事業	<p>【目的】 人口減少や少子高齢化が進む本町においては、若者のしごとと雇用を創出することが急務である。 そこで、事業者や農家、地域等を単一事業や単年度の一時的支援ではなく、長期的に支援できる伴走者となる人材が必要であることから、町内の若者で設立したNPO法人の育成を行う。 また、従来の作り手の理論を優先する生産者とニーズを優先した顧客視点での商品の企画・開発を行う支援団体の育成に取り組むことにより、久米南町の基幹産業である農業を軸としたしごとと雇用の創出を図る。</p> <p>【概要】 新規就農者支援やふるさと納税返礼品パッケージ開発等をフィールドとして、都市部クリエイターからデザインやコミュニティ支援に関わる指導を受け、人材育成を行う。 また、客観的データを活用するため町独自の産業連関表の作成やユズ・米・ブドウの3品目の市場調査を行い、データ分析に基づいた事業を行う。</p> <p>①都市部クリエイターと連携した、地域ツアー・商品開発・地域イベント・ふるさと納税返礼品の開発・新ビジネスの企画 ②活動団体の視察、人材育成研修、活動・事務所整備費 ③産業連関表・市場調査(ブドウ・ユズ・米)の実施</p>	<p>【実施内容】 町内の若者で設立したNPO法人が事業主体となり、大阪のクリエイターからデザインやコミュニティ支援の指導を受けながら事業を実施。商品開発では、上初地区でユズを活用した商品や町の活動人口獲得に向けたテストツアーを開催するとともに、ふるさと納税では、寄附者に町を知ってもらうための冊子・ポストカードの作成や今後商品の統一感を出すためのブランド化を目的としたロゴマークを製作した。 また、基幹産業である農業を検討していくために「ブドウ・ユズ・米」の3分野について市場調査を実施するとともに町独自の産業を分析する経済波及効果ツールとして産業連関表を作成した。</p>	29,758,640	①NPO法人等の中間支援組織設立数 ②デザインワークの創出	①1団体設立 ②3商品の開発	①1団体設立 ②3商品の開発	地方創生に相当程度効果があった	総合戦略のKPI達成に有効であった	発展	町内の若者で設立したNPO法人らんたんが、クリエイターからOJTを受け、デザイン能力やワークショップの手法などのノウハウを学ぶことにより、地域課題の解決を図る伴走者となるスキルアップが図られた。また、農家や地域が主体となり商品開発やツアー、イベントを開催する等、持続可能なモデルを構築することができ、相当程度効果があった。 また、産業連関表の作成や市場調査を行うことにより客観的データから戦略的に事業を検討するとともに、推進交付金事業を活用した事業展開が可能となる仕組みの構築ができた。 今後は、NPO法人の人材育成を発展させるため、市場調査の結果を活用した農業支援を行い、伴走型コーディネーターを目指す。	

地方創生推進交付金事業

No	交付対象事業の名称	事業目的や概要	実施内容	実績額 (円)	本事業における重要業績評価指標 (KPI)			事業効果	外部有識者からの評価		内部事業評価と今後の方針	
					指標	指標値 (H30)	実績値		事業の評価	有識者からの意見	事業評価	取組評価と今後の方針
1	「都市と地方をつなぐ活動循環によるしごと創生の久米南モデル事業」	<p>【目的】 加速化交付金事業によってスタートした人材育成をさらに深化させるため都市部クリエイターの指導を引き続き受け、「農を中心とするしごとモデルの創出」と「活動人口の確保」をテーマとした事業を展開することにより、地域課題を解消する伴走型コーディネーターの育成を図る。</p> <p>【概要】 ○農を中心とするしごとモデルの創出 ・マーケティング調査や産業連関表を基に研究分析を行い、所得向上に向けた品種改良や作業効率化、販路開拓、6次産業化を実施。 ○活動人口の確保 ・町内外及び県内外に久米南町の取組をPRし、活動人口の確保を行う。また、大阪等の都市部にて本町の地域課題解決に向けたローカルベンチャースクール等を開催する。</p>	<p>【実施内容】 推進交付金事業の1年目として、加速化交付金事業で実施したマーケティング調査や産業連関表を作成するとともに、その研修分析結果を2年目以降の事業に円滑に繋げるため、関係団体や商工会、地域住民等の理解度の向上を目的に研修会を開催した。 【産業連関研修会】2回 【市場調査研修会】2回</p>	993,600	【H28】 ①本事業の支援による新規事業所数 ②本事業による商品開発数 ③ふるさと納税寄付額	①4事業所 ②6商品 ③7,172千円	①0事業所 ②0商品 ③1,630千円	地方創生に相当程度効果があった	総合戦略のKPI達成に有効であった	発展	創生推進交付金の1年目として、加速化交付金事業で作成した産業連関表及び市場調査の分析結果を活用した研修会を開催することにより、2年目以降、継続性が生まれたほか、農を中心とした経済循環構造を町内全体に普及できた。 この調査結果を用いて2年目以降、各分野の生産者やマーケティング専門家を含めた農業戦略の実施が可能となった。 今後はNPO法人らんたんを事業主体に引き続き都市部クリエイターから指導を受け「農を中心とするしごとモデルの創出」と「活動人口の確保」をテーマにKPIを達成する。	